

受益者の皆さまへ

2022年10月4日

弊社ファンドの基準価額の下落について（10月4日）

下記公募ファンドの10月4日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	10月3日	10月4日	前営業日比	騰落率
C A Mベトナムファンド	23,002円	21,799円	▲1,203円	▲5.2%
ベトナム成長株インカムファンド	16,066円	15,245円	▲821円	▲5.1%

【為替】

為替レート	10月3日	10月4日	前営業日比	騰落率
ベトナムドン（100単位）/円	0.6070	0.6059	▲0.0011	▲0.2%

* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

【株価】

株式指数	9月30日	10月3日	前営業日比	騰落率
ベトナムVN指数	1,132.11	1,086.44	▲45.67	▲4.0%

基準価額下落の背景と今後の見通し

週明け10月3日（月）のアジア市場では、世界的なインフレ懸念を背景に米連邦準備制度理事会（FRB）など主要中央銀行が利上げを続けるとの見方が高まり、世界景気の先行き不透明感が広がりました。特に前週末に発表された8月の米個人消費支出物価指数が前年同月比6.2%上昇と市場予想を上回ったことが警戒されました。こうした中、ベトナム株式市場も下落し、心理的な節目の1,100ポイントを割り込みました。

もっとも、ベトナムのファンダメンタルズは堅調とみられます。7-9月期のベトナムの実質国内総生産（GDP）成長率は、前年同期比+13.67%と高い伸びを示しました。昨年7-9月期に新型コロナウイルス感染拡大の悪影響が大きく出ている反動もありますが、同国経済の回復基調が続いています。景気回復を背景に、VN指数でみた、2022年の1株当たり利益（EPS）は9月末時点で、前年比+22.4%（市場予想ベース）の増益が見込まれています。

今後の見通しについては、引き続きインフレ懸念や金融引き締め長期化観測など世界経済の不透明感は強く、ベトナム株式市場も変動性の高い展開を続けると想定されます。しかしながら、同国の堅調なファンダメンタルズを考慮すれば、予想PERが9月末時点で9.5倍（12ヵ月先市場予想ベース）と過去10年平均の13.4倍を大きく下回る水準にあり、割安圏にあるとみられます。

<投資信託に関するご注意>

■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入しておりません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%～0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会